

平成 30 年 11 月 15 日

横浜地区ナイトハイク

横浜地区野営行事副委員長
小柳出 勤

11 月 3～4 日、野営行事委員会によるボーイ隊ナイトハイクが 8 隊、8 個班 32 名のスカウト、25 名の指導者（奉仕者）が参加して行なわれました。

ハイクは地区ボーイ隊の技能向上のため夜間ハイキングを行ない過酷な条件下で班制度の重要性を認識し班全員で成し遂げた達成感を味わうことによるチームワークとリーダーシップの育成と団の交流が目的で行なわれました。

事前に班長に配信された指令書には宇宙人からのメッセージを解読しコンタクトを図るよう指示がありました。

京急安針塚駅と京急逸見駅の二手に分かれて出発したスカウトたちは最初のチェックポイントである安針塚をめざしそれぞれハイクを開始しました。

このハイクは当初 9 月に予定されていましたが荒天により 11 月に延期、今回実施となり出発時間を 1 時間早めましたがそれでも出発時にはすでに暗闇の中でした。

安針塚より第 2 チェックポイント木古庭公園に向かいますがこのポイントでいよいよ宇宙人からのメッセージが送られてきます。暗闇からなんと赤白（青）のライトによる手旗信号が発信されました。この信号を解読し最終目的地である大楠山山頂を目指します。

最後の班が山頂に着いたのは 0 時頃になってしまいました。その後宇宙人とのコンタクトが行なわれました。青い光の中から宇宙人たちが登場し「未知との遭遇」が行なわれました。宇宙人はスカウトにプレゼントを手渡し青い光の中に消えて行きました。興奮冷めやらぬうちスカウトたちは山頂広場でピバークを開始、ドームテントやブルーシートを使ったリーントゥーなどをそれぞれ設営し就寝しました。

2 時過ぎに一時雨が降りましたがスカウトたちは朝まで熟睡でした。

朝食は袋に水を灌ぐと発熱し温まるカレーが配られそれぞれ食事をしました。

その後朝礼、優秀班の発表があり佐藤実行委員長より表彰、小山地区委員長より参加賞、萩野コミッショナーより講評を頂き解散、帰宅の途に就きました。

事故や怪我もなく無事に全員下山できましたこと、運営スタッフの皆様、大変ありがとうございました。